



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社ネクソン

上場取引所 東

コード番号 3659 URL <http://www.nexon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) オーウェン・マホニー

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役最高財務責任者 (氏名) 植村 士朗 (TEL) 03-3523-7910

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	121,856	27.4	56,040	228.1	46,947	499.4	39,114	—	39,354	—	43,367	—
28年12月期第2四半期	95,620	1.0	17,082	△49.1	7,832	△79.5	1,498	△95.3	1,292	△95.9	△36,823	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	90.11	88.59
28年12月期第2四半期	2.97	2.91

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	482,977	425,628	421,004	87.2
28年12月期	441,832	377,694	372,924	84.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	5.00	—	0.00	5.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期第3四半期(累計)の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		基本的1株当たり 四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	173,501	24.0	73,795	121.1	65,844	265.7	54,911	489.4	55,230	518.7	126.24
	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	177,408	26.8	76,502	129.2	68,552	280.7	57,089	512.8	57,400	543.0	131.20

(注) 平成29年12月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第3四半期(累計)の業績予想のみを開示しております。また、特定の数値による予想が困難であるためレンジ形式での開示を行っております。詳細は、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	439,141,414株	28年12月期	434,871,414株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	182株	28年12月期	61株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	436,725,434株	28年12月期2Q	435,163,226株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断できる一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 .....	5
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(6) 継続企業の前提に関する注記 .....	14
(7) 親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	14
(8) セグメント情報 .....	14
(9) 後発事象 .....	18

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間の世界経済は総じて緩やかな回復が続きました。米国経済は製造業の業況が底堅さを維持したことに加え、雇用環境や個人消費が持ち直すなど緩やかな経済の拡大が続きました。欧州では、イギリスやフランスで景気回復のペースが鈍化したものの、ドイツやスペインなどでは経済成長率が高まるなど、輸出増加を背景に欧州全体で景気回復が継続しました。新興国経済は、中国では景気対策の効果などにより持ち直しの動きに転じましたが、インドでは高額紙幣の廃止の影響などによる減速が見られ、ブラジルでは底打ちの兆しが出てきたもののマイナス成長を脱するには至りませんでした。わが国経済は、設備投資や雇用・所得環境の改善など緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、PCオンライン事業及びモバイル事業を展開し、ユーザーの皆様楽しんでいただける高品質なゲームの開発、コンテンツの獲得、新規ゲームタイトルの配信に努めるとともに、既存ゲームタイトルのアップデートを推し進めてまいりました。具体的には、グループ内におけるゲーム開発力の強化、他社との共同開発を含めた事業提携、有力なゲーム開発会社への投資等による高品質な新規ゲームタイトルの配信、モバイル事業における開発力強化、既存ゲームタイトルの魅力的なコンテンツアップデートを実施するための事業基盤の更なる強化などに取り組んでまいりました。

当第2四半期連結会計期間におきましては、主要外貨の対円為替レートが前年同期比で上昇したことによる為替の好影響と、中国事業が引き続き好調であったことにより売上収益は大きく成長しました。中国においては、主力PCオンラインゲーム『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)の9周年アニバーサリーアップデート及び新キャラクターに関連したアバターやアイテムの販売がユーザーの好評を博したこと等により大変好調に推移しました。韓国においては、主力タイトルである『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)、及び『メイプルストーリー』(MapleStory)が好調に推移したほか、当第1四半期末にローンチした『真・三國無双 斬』(Dynasty Warriors Unleashed)が好調な滑り出しをみせ、『サドンアタック』(Sudden Attack)及び前第2四半期に大変好調であったモバイルゲーム『HIT』等からの減少を補填したことにより前年同期比で成長しました。

費用面では、『真・三國無双 斬』(Dynasty Warriors Unleashed)の売上収益が好調に推移しているに伴うロイヤリティ費用の増加や、韓国における既存ゲームタイトルの運用に係る従業員の増加等に伴い人件費が増加した結果、売上原価は前年同期比で増加しました。販売費及び一般管理費は、『真・三國無双 斬』(Dynasty Warriors Unleashed)等の新規タイトルのリリースに合わせた広告宣伝費の増加やプラットフォーム費用の発生により、前年同期比で増加しました。また、外貨建ての現金預金及び売掛金等について為替差益が発生した結果、前年同期比で金融費用は減少し、金融収益は増加しました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上収益は121,856百万円(前年同期比27.4%増)、営業利益は56,040百万円(同228.1%増)、税引前四半期利益は46,947百万円(同499.4%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は39,354百万円(同2,947.1%増)となりました。

報告セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

#### ① 日本

当第2四半期連結累計期間の売上収益は6,599百万円(前年同期比14.9%減)、セグメント損失は1,851百万円(前年同期は1,303百万円の損失)となりました。日本では、PCオンラインゲームは増収、モバイルゲームは減収となりました。

#### ② 韓国

当第2四半期連結累計期間の売上収益は109,006百万円(前年同期比35.5%増)、セグメント利益は64,125百万円(同48.0%増)となりました。『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)、及び『メイプルストーリー』(MapleStory)は、好調に推移し前年同期比で増加しました。また、新規ローンチされた『真・三國無双 斬』(Dynasty Warriors Unleashed)が売上収益の増加に貢献いたしました。一方で主に『サドンアタック』(Sudden Attack)及び『HIT』などの売上収益は減少しました。なお、韓国セグメントの売上収益には、子会社であるネクソン・코리아・コーポレーションの傘下にあるネオプル・インクの中国におけるライセンス供与に係るロイヤリティ収益が含まれます。当第2四半期連結累計期間においては、主力PCオンラインゲーム『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)の9周年アニバーサリーアップデートや、新キャラクターに関連するアイテム販売がユーザーの好評を博したこと等により大変好調に推移しました。

## ③ 中国

当第2四半期連結累計期間の売上収益は1,970百万円(前年同期比12.8%減)、セグメント利益は1,233百万円(同21.5%減)となりました。

## ④ 北米

当第2四半期連結累計期間の売上収益は3,930百万円(前年同期比11.1%減)、セグメント損失は2,859百万円(前年同期は2,036百万円の損失)となりました。

## ⑤ その他

当第2四半期連結累計期間の売上収益は351百万円(前年同期比53.8%減)、セグメント損失は86百万円(前年同期は134百万円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び資本の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は482,977百万円であり、前連結会計年度末に比べて41,145百万円増加しております。主な増加要因は、現金及び現金同等物の増加(前期末比24,105百万円増)及びその他の預金の増加(同10,154百万円増)によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は57,349百万円であり、前連結会計年度末に比べて6,789百万円減少しております。主な減少要因は、仕入債務及びその他の債務の減少(2,140百万円減)、未払法人所得税の減少(前期末比1,820百万円減)及び引当金の減少(同1,078百万円減)によるものであります。

## (資本)

当第2四半期連結会計期間末における資本の残高は425,628百万円であり、前連結会計年度末に比べて47,934百万円増加しております。主な増減要因は、欠損填補に伴う資本剰余金の減少(前期末比38,789百万円減)、欠損填補及び四半期利益計上に伴う利益剰余金の増加(同79,400百万円増)によるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は87.2%(前連結会計年度末は84.4%)となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ24,105百万円増加し、176,788百万円となりました。当該増加には現金及び現金同等物に係る為替変動による影響△1,171百万円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は42,369百万円(前年同期は26,520百万円の収入)となりました。主な増加要因は、税引前四半期利益46,947百万円及び為替差損失7,882百万円によるものであり、主な減少要因は、法人所得税の支払9,323百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は20,181百万円(前年同期は48,015百万円の支出)となりました。主な減少要因は、その他の預金の増加12,775百万円、有価証券の取得による支出3,800百万円及び関連会社取得による支出1,748百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は3,088百万円(前年同期は1,904百万円の支出)となりました。主な増加要因は、ストック・オプションの行使による収入4,131百万円によるものであり、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出850百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当社グループの主力事業であるPCオンラインゲーム及びモバイルゲーム市場は、成長速度を予測することが難しく、ユーザーの嗜好や人気タイトルの有無などの不確定要素に収益が大きく左右されることから、通期の連結業績予想を算出することが困難であり、株主と投資家の皆様により正確な情報を提供するために、翌四半期の業績予想をレンジ形式により開示させていただいております。なお、「平成29年12月期第3四半期(累計)の連結業績予想」は平成29年12月期第2半期連結累計期間の実績値に第3四半期連結会計期間の連結業績予想を加算したものとなっております。平成29年12月期第3四半期連結会計期間の業績予想については、下表をご参照ください。

当社グループにおける平成29年12月期第3四半期連結累計期間の連結業績予想は、売上収益173,501～177,408百万円(前年同期比24.0%～26.8%増)、営業利益73,795～76,502百万円(同121.1%～129.2%増)、税引前利益65,844～68,552百万円(同265.7%～280.7%増)、四半期利益54,911～57,089百万円(同489.4%～512.8%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益55,230～57,400百万円(同518.7%～543.0%増)、基本的1株当たり四半期利益126.24～131.20円となっております。当社グループは、日本、韓国、中国、米国をはじめとして、世界中で事業を運営しております。当第3四半期連結会計期間の取引における主要な為替レートは1ドル=112.43円、100ウォン=9.93円、1中国元=16.62円と想定しています。一般に韓国ウォンも中国人民元も米国ドルと連動して為替は推移します。このことを前提とし、為替レートの当社グループ業績への影響度に関して、当社が想定するドル円の為替レートに対して1円為替が変動した場合、第3四半期連結会計期間は売上収益が約453百万円、営業利益が約173百万円変動するものと当社では推定しております。

第3四半期連結会計期間における売上収益は、顧客所在地別で以下のように見込んでいます。

韓国では、既存タイトルのコンテンツアップデート、新作モバイルタイトルとなる『ダークアベンジャー3』(Dark Avenger 3)の配信開始により増収寄与を見込んでいます。一方で、『サドンアタック』(Sudden Attack)や『HIT』などが減収要因となりますが、増収要因の方が減収要因を上回り前年同期比で増収となる見込みです。

中国では、主力PCタイトル『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)に対し、夏季アップデートを平成29年7月に実施しました。アップデートは非常に好調なスタートを切っており、9月に国慶節アップデートも予定されていることから前年同期比で増収となる見込みです。

日本では、モバイルゲームの『HIT』や『ハイドアンドファイア』(HIDE AND FIRE)などで増収寄与を見込んでいます。gloopsのブラウザゲームで減収を見込んでおりますが、増収要因の方が減収要因を上回り前年同期比で増収となる見込みです。

北米、欧州及びその他の地域では、『真・三國無双 斬』(Dynasty Warriors Unleashed)などのモバイルゲームが増収寄与する見込みです。また、北米地域においては、新作タイトルである『LawBreakers』のリリースが増収寄与する見込みです。

当第3四半期連結会計期間における費用は、韓国での従業員増加等に伴う人件費の増加、外部IPを利用したゲームの売上収益増加に伴う、外部IPに係るロイヤリティ費用や支払手数料及びプラットフォーム費用等の変動費の増加を見込んでいます。また、複数の新規タイトルのリリース及び既存タイトルのマーケティングにより、広告宣伝費が前年同期比で増加することを見込んでいます。結果として、当第3四半期連結会計期間の費用は前年同期比で増加を見込んでいます。

業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいるため、実績値は業況の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

(参考)

平成29年12月期第3四半期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		基本的1株当たり四半期利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第3四半期	51,645	16.7	17,755	9.0	18,897	85.7	15,797	102.1	15,875	107.9	36.14
	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
	55,551	25.5	20,462	25.6	21,604	112.3	17,974	129.9	18,045	136.3	41.08

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

## (IFRSにより要求される会計方針の変更)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、特段の記載がない限り、以下の新たに適用する基準を除いて、前期の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、第1四半期連結会計期間(2017年1月1日から2017年3月31日)より以下の基準を適用しております。これらについては、当第2四半期連結累計期間において重要な影響はありません。

基準書	基準書名	新設・改訂の概要
IFRS第12号	他の企業への関与の開示	IFRS第5号に従って売却目的保有又は非継続企業に分類される持分にIFRS第12号の開示要求が、適用されること(一部を除く)を明確化
IAS第7号	キャッシュ・フロー計算書	財務活動による負債の変動に関する開示を改訂
IAS第12号	法人所得税	公正価値で測定される負債性金融商品に係る繰延税金資産の会計処理方法を明確化

## 3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	152,683	176,788
営業債権及びその他の債権	27,037	31,712
その他の預金	173,226	183,380
その他の金融資産	2,895	3,519
その他の流動資産	10,256	13,094
流動資産合計	366,097	408,493
非流動資産		
有形固定資産	20,394	20,097
のれん	17,523	14,948
無形資産	7,127	4,476
持分法で会計処理している投資	6,662	7,645
その他の金融資産	18,236	21,051
その他の非流動資産	551	515
繰延税金資産	5,242	5,752
非流動資産合計	75,735	74,484
資産合計	441,832	482,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	9,472	7,332
繰延収益	9,313	9,965
借入金	1,683	1,668
未払法人所得税	5,511	3,691
その他の金融負債	1,523	530
引当金	2,396	1,314
その他の流動負債	5,106	4,876
流動負債合計	35,004	29,376
非流動負債		
繰延収益	8,392	8,222
借入金	835	—
その他の金融負債	644	333
引当金	327	331
その他の非流動負債	1,741	2,283
繰延税金負債	17,195	16,804
非流動負債合計	29,134	27,973
負債合計	64,138	57,349
資本		
資本金	3,519	6,301
資本剰余金	86,753	47,964
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	56,254	60,941
利益剰余金	226,398	305,798
親会社の所有者に帰属する持分合計	372,924	421,004
非支配持分	4,770	4,624
資本合計	377,694	425,628
負債及び資本合計	441,832	482,977

## (2) 要約四半期連結損益計算書

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)
売上収益	95,620	121,856
売上原価	△23,550	△27,351
売上総利益	72,070	94,505
販売費及び一般管理費	△30,614	△33,946
その他の収益	267	895
その他の費用	△24,641	△5,414
営業利益	17,082	56,040
金融収益	1,630	2,377
金融費用	△10,949	△11,118
持分法による投資利益又は損失(△)	69	△352
税引前四半期利益	7,832	46,947
法人所得税費用	△6,334	△7,833
四半期利益	1,498	39,114
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,292	39,354
非支配持分	206	△240
四半期利益	1,498	39,114
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益	2.97円	90.11円
希薄化後1株当たり四半期利益	2.91円	88.59円

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上収益	38,123	47,064
売上原価	△10,475	△12,584
売上総利益	27,648	34,480
販売費及び一般管理費	△14,202	△16,648
その他の収益	120	714
その他の費用	△187	△2,268
営業利益	13,379	16,278
金融収益	808	6,271
金融費用	△4,401	△294
持分法による投資利益又は損失(△)	53	△340
税引前四半期利益	9,839	21,915
法人所得税費用	△2,262	△2,613
四半期利益	7,577	19,302
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	7,564	19,448
非支配持分	13	△146
四半期利益	7,577	19,302
1 株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益	17.36円	44.42円
希薄化後1株当たり四半期利益	17.03円	43.69円

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)
四半期利益	1,498	39,114
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△535	△666
確定給付型年金制度の再測定額	1	△0
持分法によるその他の包括利益	△2	—
法人所得税	240	147
純損益に振替えられることのない 項目合計	△296	△519
純損益にその後に振替えられる可能性の ある項目		
在外営業活動体の換算差額	△38,026	4,772
持分法によるその他の包括利益	1	0
純損益にその後に振替えられる可能性 のある項目合計	△38,025	4,772
その他の包括利益合計	△38,321	4,253
四半期包括利益	△36,823	43,367
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△36,357	43,464
非支配持分	△466	△97
四半期包括利益	△36,823	43,367

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期利益	7,577	19,302
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△976	△606
確定給付型年金制度の再測定額	0	0
持分法によるその他の包括利益	△1	—
法人所得税	177	154
純損益に振替えられることのない 項目合計	△800	△452
純損益にその後に振替えられる可能性の ある項目		
在外営業活動体の換算差額	△26,001	△7,688
持分法によるその他の包括利益	0	0
純損益にその後に振替えられる可能性 のある項目合計	△26,001	△7,688
その他の包括利益合計	△26,801	△8,140
四半期包括利益	△19,224	11,162
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△18,786	11,348
非支配持分	△438	△186
四半期包括利益	△19,224	11,162

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金			
資本(期首)	56,441	34,597	—	73,308	210,101	374,447	5,234	379,681
四半期利益	—	—	—	—	1,292	1,292	206	1,498
その他の包括利益	—	—	—	△37,649	—	△37,649	△672	△38,321
四半期包括利益合計	—	—	—	△37,649	1,292	△36,357	△466	△36,823
資本金から資本剰余金への振替	△55,227	55,227	—	—	—	—	—	—
新株の発行	1,299	1,299	—	—	—	2,598	—	2,598
新株発行費用	—	△10	—	—	—	△10	—	△10
配当金	—	—	—	—	△2,171	△2,171	—	△2,171
株式に基づく報酬取引	—	—	—	△89	—	△89	—	△89
非支配持分の取得	—	△115	—	—	—	△115	△166	△281
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	△0	—	△0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△576	576	—	—	—
その他の増減額	—	—	—	—	9	9	—	9
所有者との取引額合計	△53,928	56,401	△0	△665	△1,586	222	△166	56
資本(期末)	2,513	90,998	△0	34,994	209,807	338,312	4,602	342,914

当第2四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金			
資本(期首)	3,519	86,753	△0	56,254	226,398	372,924	4,770	377,694
四半期利益	—	—	—	—	39,354	39,354	△240	39,114
その他の包括利益	—	—	—	4,110	—	4,110	143	4,253
四半期包括利益合計	—	—	—	4,110	39,354	43,464	△97	43,367
資本剰余金から利益剰余金への振替	—	△41,476	—	—	41,476	—	—	—
新株の発行	2,782	2,782	—	—	—	5,564	—	5,564
新株発行費用	—	△18	—	—	—	△18	—	△18
株式に基づく報酬取引	—	—	—	△457	—	△457	—	△457
非支配持分の取得	—	△74	—	—	—	△74	△98	△172
連結子会社の売却による増減	—	△3	—	—	△396	△399	49	△350
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	△0	—	△0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	1,034	△1,034	—	—	—
所有者との取引額合計	2,782	△38,789	△0	577	40,046	4,616	△49	4,567
資本(期末)	6,301	47,964	△0	60,941	305,798	421,004	4,624	425,628

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	7,832	46,947
減価償却費及び償却費	2,980	3,035
株式報酬費用	765	956
受取利息及び受取配当金	△1,608	△2,348
支払利息	14	6
減損損失	24,492	4,874
持分法による投資損益(△は益)	△69	352
為替差損失	9,646	7,882
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△11,912	△4,554
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,940	△4,912
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△3,835	△1,877
繰延収益の増減額(△は減少)	6,260	461
その他	△483	△1,221
小計	32,142	49,601
利息及び配当金の受取額	1,900	2,099
利息の支払額	△9	△8
法人所得税の支払額	△7,513	△9,323
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,520	42,369
投資活動によるキャッシュ・フロー		
その他の預金の純増減額(△は増加)	△29,192	△12,775
有形固定資産の取得による支出	△997	△1,002
有形固定資産の売却による収入	12	23
無形資産の取得による支出	△633	△386
長期前払費用の増加を伴う支出	△1,107	△2
有価証券の取得による支出	△1,478	△3,800
有価証券の売却及び償還による収入	366	159
関連会社取得による支出	△3,645	△1,748
子会社の取得による支出	△5,581	—
長期貸付金の貸付による支出	△5,002	△22
その他	△758	△628
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,015	△20,181
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△250	—
長期借入金の返済による支出	△833	△850
ストック・オプションの行使による収入	1,732	4,131
自己株式取得による支出	△0	△0
子会社の自己株式取得による支出	△281	△124
配当金の支払額	△2,173	△1
その他	△99	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,904	3,088
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△23,399	25,276
現金及び現金同等物の期首残高	194,225	152,683
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△22,758	△1,171
現金及び現金同等物の四半期末残高	148,068	176,788

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2017年2月23日開催の取締役会の決議により、会社法第452条及び第459条第1項第3号並びに当社定款第38条第1項の規定に基づき、当社におけるその他資本剰余金41,476百万円を減少し、その同額を繰越利益剰余金に振り替えることで当社の欠損填補を行うとともに、今後の資本政策実行の機動性及び柔軟性を確保しております。

なお、当社グループの親会社の所有者に帰属する持分の合計金額には著しい変動はありません。

(8) セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を行っており、取り扱う商品・サービスについて国内においては当社及び国内連結子会社、海外においては現地連結子会社が、それぞれ独立した経営単位として各地域における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を基礎とした各社の所在地別の事業セグメントから構成されております。なお、当社グループは、所在地毎の各子会社における事業の特性などから、為替の変動が業績に与える影響が類似しており、かつその影響の業績に占める割合も大きいことから、各社の所在地別に事業セグメントを集約することで、報告セグメントを作成しております。報告セグメントは「日本」、「韓国」、「中国」、「北米」及び「その他」の5つとしており、「その他」の区分には欧州及びアジア諸国が含まれております。

## ② 報告セグメントの収益及び損益

当社グループのセグメント情報は次のとおりであります。

(第2四半期連結累計期間)

前第2四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益	7,759	80,421	2,259	4,422	759	95,620	—	95,620
セグメント間収益	98	1,101	—	539	22	1,760	△1,760	—
計	7,857	81,522	2,259	4,961	781	97,380	△1,760	95,620
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,303	43,338	1,572	△2,036	△134	41,437	19	41,456
その他の収益・費用 (純額)								△24,374
営業利益								17,082
金融収益・費用(純額) (注4)								△9,319
持分法による投資利益								69
税引前四半期利益								7,832

(注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。

3. セグメント利益又は損失の調整額19百万円は、セグメント間取引消去であります。

4. 金融費用の主な内訳は、為替差損10,631百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益	6,599	109,006	1,970	3,930	351	121,856	—	121,856
セグメント間収益	152	982	—	348	236	1,718	△1,718	—
計	6,751	109,988	1,970	4,278	587	123,574	△1,718	121,856
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,851	64,125	1,233	△2,859	△86	60,562	△3	60,559
その他の収益・費用 (純額)								△4,519
営業利益								56,040
金融収益・費用(純額) (注4)								△8,741
持分法による投資損失								△352
税引前四半期利益								46,947

(注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。

3. セグメント利益又は損失の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去であります。

4. 金融費用の主な内訳は、為替差損10,824百万円であります。

## (第2四半期連結会計期間)

前第2四半期連結会計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益	3,575	31,190	929	2,075	354	38,123	—	38,123
セグメント間収益	37	505	—	232	22	796	△796	—
計	3,612	31,695	929	2,307	376	38,919	△796	38,123
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,038	15,171	558	△1,218	△31	13,442	4	13,446
その他の収益・費用 (純額)								△67
営業利益								13,379
金融収益・費用(純額) (注4)								△3,593
持分法による投資利益								53
税引前四半期利益								9,839

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。  
 2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。  
 3. セグメント利益又は損失の調整額4百万円は、セグメント間取引消去であります。  
 4. 金融費用の主な内訳は、為替差損4,164百万円であります。

当第2四半期連結会計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益	3,067	41,390	665	1,802	140	47,064	—	47,064
セグメント間収益	90	441	—	166	132	829	△829	—
計	3,157	41,831	665	1,968	272	47,893	△829	47,064
セグメント利益又は損失 (注1)	△948	20,120	300	△1,587	△55	17,830	2	17,832
その他の収益・費用 (純額)								△1,554
営業利益								16,278
金融収益・費用(純額) (注4)								5,977
持分法による投資損失								△340
税引前四半期利益								21,915

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。  
 2. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいております。  
 3. セグメント利益又は損失の調整額2百万円は、セグメント間取引消去であります。  
 4. 金融収益の主な内訳は、為替差益5,092百万円であります。

## ③ 地域ごとの情報

外部顧客からの売上収益は、次のとおりであります。

(第2四半期連結累計期間)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)
	百万円	百万円
日本	8,452	9,818
韓国	37,509	36,080
中国	41,454	64,754
北米	3,869	3,963
その他	4,336	7,241
合計	95,620	121,856

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
 2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。  
 3. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北米：米国及びカナダ  
 (2) その他：欧州、中南米及びアジア諸国

(第2四半期連結会計期間)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
	百万円	百万円
日本	3,891	4,412
韓国	14,954	15,801
中国	15,625	20,803
北米	1,706	1,886
その他	1,947	4,162
合計	38,123	47,064

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
 2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。  
 3. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北米：米国及びカナダ  
 (2) その他：欧州、中南米及びアジア諸国

## ④ 事業別の売上収益

事業別の売上収益は、次のとおりであります。

(第2四半期連結累計期間)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)
	百万円	百万円
PCオンライン	73,687	97,674
モバイル	21,651	23,203
その他	282	979
合計	95,620	121,856

(第2四半期連結会計期間)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
	百万円	百万円
PCオンライン	28,800	35,096
モバイル	9,208	11,524
その他	115	444
合計	38,123	47,064

## (9) 後発事象

該当事項はありません。